

化粧品受託製造産業欄

新ネイルベース処方を開発

ジャパンビューティプロダクツ マニキュア除去が容易に

化粧品OEM/ODMを手掛けるジャパンビューティプロダクツ(東京都中央区)は、通常のマニキュアをはがせるネイルとして展開できるネイルベース処方を開発した。既存のネイルカラーを活かしたまま、簡単に落とせるネイル商品として展開できる処方

で、ブランドの既存ラインを活用したネイル提案として化粧品企業向けに提案を進めている。

同処方の最大の特徴は、40度前後のぬるま湯に浸すことでネイルが浮き上がり、リムーバーを使用せずに剥がしてオフできる点(図参照)。水ベースの処方、刺激臭の原因となる酢酸エチルや酢酸ブチル、爪の黄変につながるニトロセルロースを使用していないなど、爪へのやさしさに

も配慮している。同処方をネイルベースとして使用し、その上から通常のマニキュアを重ねることで、既存のネイルカラーをはがせるネイルとして展開できる。新たなカラー開発を行わずに商品ラインを拡張できるのも、ブランド側にとっては開発負担を抑えながら商品提案の幅を広げることができる。週末やイベントなど「一口だけネイルを楽しみたい」といった短期需要への対応に加え、ジェルネイルや既存ネイルの上から塗布して一時的にカラーを隠すカバー用途としての活用も想定。シーンに応じてネイルを切り替えたい顧客への提案を可能としている。同社では単体カラーとしての展開に加え、ネイルベース用途としてのOEM提案も進めており、6色のカラーパリエーションを基に色調整や香料などの追加配合にも対応可能。既存ネイルカラーを活かす新提案として、OEM提案を強化している。

ネイル剥離イメージ図

